

抗議の要請文

12月1日の原子力潜水艦ツーソンの横須賀入港に強く抗議する。横須賀は、原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ツーソンはただちに横須賀港から出て行くことを強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 フィリップス・ソーヤー中将 殿
在日米海軍司令官 グレゴリー・フェントン少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ジェフリー・キム大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

12月1日午後1時51分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦ツーソンが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は13回目、原子力艦船の入港は15回目で、通算953回となった。

現在、北東アジア、とりわけ北朝鮮をめぐる情勢は、核開発や弾道ミサイル発射などによって非常に緊迫している。11月29日にも北朝鮮は弾道ミサイルの発射を強行した。私たちは、この北朝鮮の暴挙を厳しく糾弾し、抗議する。

同時に、甚大な犠牲と破壊をもたらす戦争は絶対に避けなければならない。この間、日本海で原子力空母3隻を動員した北朝鮮を軍事的に威嚇する日米韓による大規模な軍事演習がおこなわれた。これらの軍事演習は、北朝鮮のミサイル基地に対する先制攻撃につながり、東アジアの緊張をさらに強めるものである。よって強く反対する。

この危機的状況を打開する道は、国際社会が一致して、経済的制裁強化と一体に「対話による平和的解決」に取り組むことである。軍事一辺倒の圧力強化では打開できない。経済制裁の全面実施・強化の目的は対話実現にある。関係国が北朝鮮との対話・外交交渉に踏み切り、その中で核開発やミサイル発射を止め、その放棄を迫ることが重要である。

今回の原子力潜水艦ツーソンの横須賀入港は、この間の軍事演習の中での入港である。横須賀基地を軍事拠点にした軍事行動は直ちにやめ、原潜ツーソンは横須賀から出ていくことを要求する。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みの疑惑も払拭されていない。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。米艦船は核兵器を積んでいないことを証明するとともに、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は、地震や津波による原子力艦船の事故対策を明らかにし、情報を公開することを要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、県民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜ツーソンは横須賀から出て行くことを強く要求する。

以上